

## 平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ACKグループ  
 コード番号 2498 URL <http://www.ack-g.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 廣谷 彰彦  
 (氏名) 平山 光信

TEL 03-6311-6641

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	12,896	11.5	△774	—	△725	—	△423	—
23年9月期第2四半期	11,562	△3.6	△1,287	—	△1,278	—	△1,169	—

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 △408百万円 (—%) 23年9月期第2四半期 △1,158百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年9月期第2四半期	△83.57	—	
23年9月期第2四半期	△217.55	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第2四半期	25,134	4,871	18.0	893.50
23年9月期	17,838	5,321	27.9	981.96

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 4,531百万円 23年9月期 4,980百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	6.9	330	87.4	280	172.7	100	—	19.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	5,840,420 株	23年9月期	5,840,420 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	768,881 株	23年9月期	768,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	5,071,539 株	23年9月期2Q	5,373,691 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による停滞から、サプライチェーンの復旧と共に回復の兆しが見られるものの、長期にわたる円高や、欧州の財政危機による金融不安、雇用情勢の悪化懸念等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループにおいては、海外分野は前期の大型受注の反動で、前年同四半期比では減少いたしました。着実な受注活動により、期首計画を上回る成果を上げ、受注高は55億47百万円（前年同四半期比29.4%減）を獲得しております。

また国内外民間事業、主として海外民間事業を協力して遂行することを目的としてパシフィックコンサルタンツグループ株式会社と合弁契約を締結し、株式会社InterActを設立いたしました。この合弁会社は、わが国の新成長戦略による「パッケージ型インフラ海外展開」の推進に向けて、民間企業を対象とした各種コンサルティング業務やインフラ事業の維持管理、運営といった国内外民間事業への参画等、幅広い事業展開を目指してまいります。

さらに、カタール国ドーハに現地法人を設立することを決議いたしました。今後も、海外事業拡大の拠点となるべく、現地法人を設立していく予定であります。

国内分野におきましては、受注高は106億90百万円（前年同四半期比30.2%増）となりました。

そのうち、国内公共分野におきましては、震災復興関連として先行していた測量業務の受注に加え、第3次補正予算の成立後は設計業務の受注が増えるなど、前年同四半期を大きく上回って推移しており、これからも東北地方の復興に貢献してまいります。

また、国内民間分野では、震災復興関連において各種ビル施設の耐震診断調査業務や液状化調査業務で受注を獲得し、それ以外の業務においては、再開発事業に係る建物解体工事から土壌汚染調査・浄化工事までのワンストップでの受注が好調に推移し前年同四半期を大きく上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は162億37百万円（前年同四半期比1.0%増）、売上高は128億96百万円（同11.5%増）となっております。

売上高の増加は、前連結会計年度下半期の受注高の増加に伴うものであり、当第2四半期連結累計期間に受注した業務の大部分は今後順次売上計上されます。その受注残高は343億53百万円（前年同四半期比12.6%増）と大幅に増加しております。

損益面につきましては、売上高の増加に付随する原価率の改善や、前期に決定した事務所拠点戦略の見直し、また継続的な経費削減効果等により、営業損失は7億74百万円（前年同四半期は12億87百万円）と前期に比較して大きく改善しております。また、経常損失は円安進行による為替差益等も加わり7億25百万円（前年同四半期は12億78百万円）、四半期純損失は4億23百万円（前年同四半期は11億69百万円）と改善しております。

なお、当社グループは売上高の割合が3月以降に偏る季節変動特性を有しております。一方で、販売費及び一般管理費は年間を通じて平均的に発生するため、第1四半期から第3四半期累計期間までは営業損失を計上する傾向にあります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (インフラ・マネジメントサービス事業)

インフラ・マネジメントサービス事業は、前連結会計年度からの繰越受注高の増加並びに、当期においても新規案件受注が順調に推移し、売上高は97億57百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。損益面においても、原価率の改善や営業費用の削減のため前期に比して大きく改善し、営業損失は7億82百万円（前年同四半期は9億29百万円）となっております。

#### (環境マネジメント事業)

環境マネジメント事業は、震災復興関連や新規案件により、売上高は27億74百万円（前年同四半期比47.0%増）となりました。損益面においては、受注規模の拡大に伴う稼働率の改善により原価率が改善したため、営業利益は43百万円（前年同四半期は3億18百万円の損失）と大幅に改善しております。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は7億9百万円（前年同四半期比3.8%減）となり、営業損失70百万円（前年同四半期は51百万円）となっております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資金調達の状況)

当社グループの業務の工期は3月に集中しており、例年、納品後の4月、5月に売上代金の回収が集中するため、3月まで運転資金の需要が大きく、借入残高も3月まで段階的に増加する傾向にあります。この資金需要に備えるためコミットメント・ライン契約、当座借越契約並びに長期借入契約を締結しているほか、私募債を発行しております。

### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は251億34百万円と前連結会計年度末に比べ72億95百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加34億87百万円、受取手形及び売掛金の増加14億45百万円、未成業務支出金の増加18億77百万円によるものであります。なお、現金及び預金は、期末日直前での多額の代金回収によるものであり、受取手形及び売掛金、未成業務支出金については、当社グループにおける業務の売上時期が3月以降に集中することから例年大幅に増加するものであります。

### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は202億62百万円と前連結会計年度末に比べ77億45百万円増加しました。これは主に、未成業務受入金の増加27億50百万円及び3月に向けて段階的に増加していく運転資金を賄うための借入金の増加32億66百万円によるものであります。

### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は48億71百万円と前連結会計年度末に比べ4億50百万円減少しました。これは第2四半期連結累計期間において季節変動特性により四半期純損失を計上し、利益剰余金が減少していることによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の受注及び生産状況は良好であるものの、第3四半期連結会計期間以降においては、震災復興関連予算や海外経済の影響を受ける日本経済等の受注環境に不透明感があり、平成23年11月14日に発表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,167	4,754,235
受取手形及び売掛金	5,182,188	6,627,391
商品	9,258	17,781
未成業務支出金	5,532,595	7,410,523
繰延税金資産	459,947	875,198
その他	691,492	781,985
貸倒引当金	△7,510	△10,385
流動資産合計	13,135,138	20,456,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	820,500	884,157
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	221,092	359,116
土地	976,522	976,522
その他（純額）	38,967	39,381
有形固定資産合計	2,057,083	2,259,177
無形固定資産		
ソフトウェア	196,918	198,834
のれん	798,828	731,893
その他	166,400	137,419
無形固定資産合計	1,162,147	1,068,147
投資その他の資産		
投資有価証券	149,049	311,779
長期貸付金	20,996	19,363
差入保証金	913,334	723,969
繰延税金資産	333,060	217,288
破産更生債権等	26,343	19,418
その他	38,934	57,645
貸倒引当金	△23,103	△19,738
投資その他の資産合計	1,458,616	1,329,727
固定資産合計	4,677,847	4,657,052
繰延資産		
社債発行費	25,496	20,420
繰延資産合計	25,496	20,420
資産合計	17,838,483	25,134,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,475,355	2,319,513
未成業務受入金	3,834,775	6,585,566
短期借入金	1,670,000	4,986,847
1年内償還予定の社債	340,000	340,000
未払法人税等	60,874	39,361
賞与引当金	326,601	908,802
受注損失引当金	287,258	329,892
その他	1,375,900	2,019,489
流動負債合計	9,370,766	17,529,474
固定負債		
社債	1,190,000	1,020,000
長期借入金	550,000	500,000
退職給付引当金	560,695	481,828
役員退職慰労引当金	220,707	177,796
負ののれん	258,721	221,760
繰延税金負債	303,996	267,476
その他	62,155	64,559
固定負債合計	3,146,275	2,733,422
負債合計	12,517,041	20,262,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,062	503,062
資本剰余金	748,244	748,244
利益剰余金	4,019,895	3,555,830
自己株式	△292,383	△292,383
株主資本合計	4,978,818	4,514,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,214	16,664
その他の包括利益累計額合計	1,214	16,664
少数株主持分	341,409	339,890
純資産合計	5,321,441	4,871,308
負債純資産合計	17,838,483	25,134,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	11,562,061	12,896,441
売上原価	9,304,304	10,173,093
売上総利益	2,257,756	2,723,348
販売費及び一般管理費	3,544,998	3,497,955
営業損失(△)	△1,287,241	△774,607
営業外収益		
受取利息	2,476	2,161
受取配当金	6,373	2,906
為替差益	—	46,206
負ののれん償却額	36,960	36,960
その他	36,192	34,690
営業外収益合計	82,002	122,924
営業外費用		
支払利息	28,420	30,517
為替差損	34,181	—
支払手数料	5,990	26,394
その他	4,848	17,399
営業外費用合計	73,441	74,311
経常損失(△)	△1,278,680	△725,994
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産売却損	5,546	—
減損損失	334,461	—
固定資産除却損	16,120	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,692	—
災害による損失	55,192	—
特別損失合計	438,013	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,716,692	△725,994
法人税、住民税及び事業税	46,023	32,178
法人税等調整額	△592,011	△334,515
法人税等合計	△545,988	△302,337
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,170,703	△423,657
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,654	190
四半期純損失(△)	△1,169,048	△423,848



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,170,703	△423,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,523	15,465
その他の包括利益合計	12,523	15,465
四半期包括利益	△1,158,180	△408,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,156,408	△408,397
少数株主に係る四半期包括利益	△1,771	205

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,716,692	△725,994
減価償却費	142,874	130,179
のれん償却額	78,046	66,934
減損損失	334,461	—
負ののれん償却額	△36,960	△36,960
賞与引当金の増減額(△は減少)	438,376	582,201
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,668	△42,911
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△66,744	△78,866
受注損失引当金の増減額(△は減少)	30,761	42,634
受取利息及び受取配当金	△8,850	△5,067
支払利息	28,420	30,517
売上債権の増減額(△は増加)	△883,068	△1,447,108
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,310,220	△1,886,451
仕入債務の増減額(△は減少)	483,197	850,946
未成業務受入金の増減額(△は減少)	2,177,131	2,750,791
その他	37,883	531,769
小計	△1,291,050	762,614
利息及び配当金の受取額	8,442	4,643
利息の支払額	△26,044	△29,984
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	16,266	△27,086
その他の支出	△8,528	△38,714
その他の収入	36,192	29,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,264,722	700,805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	30,000
投資有価証券の取得による支出	△2,620	△152,588
投資有価証券の売却による収入	—	1,880
有形固定資産の取得による支出	△47,171	△291,966
有形固定資産の売却による収入	23,689	—
無形固定資産の取得による支出	△101,814	△19,020
短期貸付金の増減額(△は増加)	△20,000	—
長期貸付けによる支出	△5,053	△2,742
長期貸付金の回収による収入	4,499	4,374
敷金及び保証金の差入による支出	—	△113,077
敷金及び保証金の回収による収入	—	301,911
その他	—	5,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,471	△235,859

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,698,800	3,309,294
長期借入れによる収入	900,000	—
長期借入金の返済による支出	△132,800	△50,000
社債の発行による収入	1,668,450	—
社債の償還による支出	—	△170,000
自己株式の取得による支出	△114,626	—
配当金の支払額	△41,152	△38,036
少数株主への配当金の支払額	△1,725	△1,725
その他	△6,554	△4,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,970,392	3,045,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,482	18,482
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,543,716	3,528,681
現金及び現金同等物の期首残高	1,337,132	1,237,167
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△11,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,880,849	4,754,235

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,319,387	1,857,471	385,202	11,562,061	—	11,562,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,001	29,306	352,288	385,595	△385,595	—
計	9,323,388	1,886,777	737,491	11,947,657	△385,595	11,562,061
セグメント損失(△)	△929,800	△318,637	△51,970	△1,300,408	13,166	△1,287,241

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,300,408
セグメント間取引消去	232,029
全社費用	△218,863
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,287,241

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において334,461千円であります。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
7,016,173	2,696,203	704,419	1,145,264	11,562,061

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,752,567	2,753,137	390,736	12,896,441	—	12,896,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,502	21,110	318,755	344,367	△344,367	—
計	9,757,069	2,774,247	709,491	13,240,809	△344,367	12,896,441
セグメント利益又は損失(△)	△782,803	43,412	△70,805	△810,196	35,589	△774,607

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△810,196
セグメント間取引消去	210,365
全社費用	△174,776
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△774,607

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社の合併に伴い報告セグメントの見直しを行い、「インフラ・マネジメントサービス事業」に含めていたビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）事業等を「その他事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 地域に関する情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
8,299,311	3,262,412	501,968	832,749	12,896,441

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。